

kaneka

カガクでネガイをカナエル会社

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年8月9日(水)

株式会社 **力ネカ**

INDEX

業績概要	01
事業概況	03
貸借対照表	07
連結業績予想などの将来予測情報	08

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

(単位：億円)

	2023年3月期 1Q	2023年3月期 2Q	2023年3月期 3Q	2023年3月期 4Q	2024年3月期 1Q	増減(対前年同期比)	
						金額	%
売上高	1,927	1,879	1,865	1,887	1,827	△ 100	△5.2%
営業利益	122	86	68	75	56	△ 66	△54.1%
経常利益	148	78	41	58	67	△ 81	△54.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	105	61	23	41	42	△ 63	△59.7%
営業利益率	6.3%	4.6%	3.6%	4.0%	3.1%		
1株当たり四半期純利益	161.22円	91.81円	34.87円	62.84円	65.35円		
為替・原料価格							
期中平均レート(米ドル)	129.7円	138.3円	141.4円	132.4円	137.5円		
期中平均レート(ユーロ)	138.3円	139.3円	144.3円	142.2円	149.6円		
国産ナフサ	86,100円	81,400円	72,500円	66,500円	67,500円		

世界経済の状況 — 停滞感が継続、回復の足取り弱く —

- 欧米でのインフレと高金利政策の継続や中国経済の回復遅れから景気減速の流れは変わらず、グローバル経済の停滞が継続
- サービス業などで一部回復がみられるものの、製造業は軟調で今後の回復の足取りは不透明

当社グループの業績 — 減収減益、Health Care、Nutrition領域は安定 —

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

	売上高						増減 (対前年同期比)	
	2023年3月期				2024年3月期		金額	%
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
Material SU	889	840	778	831	777	△ 113	△12.7%	
Quality of Life SU	450	422	438	418	409	△41	△9.2%	
Health Care SU	166	174	187	181	177	11	6.7%	
Nutrition SU	419	441	460	454	460	42	9.9%	
その他	3	2	2	3	4	1	32.6%	
計	1,927	1,879	1,865	1,887	1,827	△100	△5.2%	

	営業利益						増減 (対前年同期比)	
	2023年3月期				2024年3月期		金額	%
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
Material SU	108	79	38	50	55	△ 52	△48.7%	
Quality of Life SU	46	41	44	31	29	△17	△36.1%	
Health Care SU	39	37	45	37	30	△9	△23.1%	
Nutrition SU	8	13	23	32	23	15	182.3%	
その他	2	1	1	2	3	1	54.1%	
調整額	△ 80	△ 85	△ 82	△ 76	△ 84	△4	-	
計	122	86	68	75	56	△66	△54.1%	

※SU : Solutions Unit

事業概況

(Material Solutions Unit)

欧米・アジアの景気減速の長期化の影響を受け、減収減益

Vinyls and Chlor-Alkali

- 塩ビ、か性ソーダは中国経済の低迷やアジア市況の大幅下落の影響

Performance Polymers(MOD)

- 欧米においてインフレ・高金利が継続、建築用途における需給調整が長期化、低調な出荷
- 非塩ビ向けも低調に推移

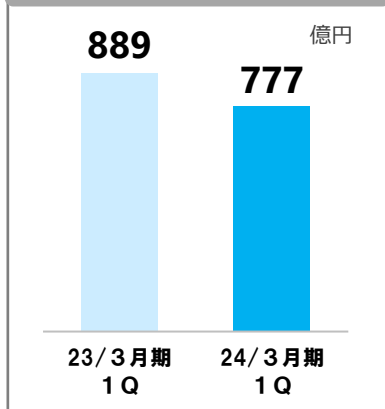
Performance Polymers(MS)

- 欧米の建築需要低迷の影響、1Q後半から回復の兆し
- グローバル需要増大に対応するため、ベルギーでの能力増強に加え、米州での次期能力増強を検討

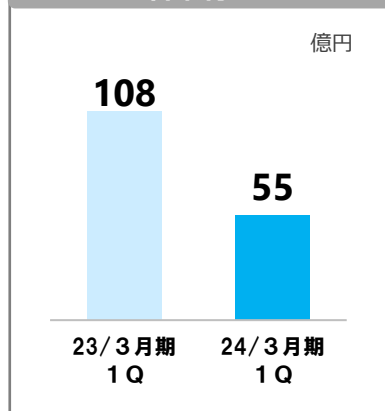
Green Planet

- 日米欧の大手ブランドホルダーとの共同開発・市場投入は順調
- 加工方法の技術確立が進み、用途拡大を急ぐ
- 廃食用油を用いた資源循環への取り組みも加速
- NEDOの「グリーンイノベーション基金事業」に採択されたGreen PlanetをCO₂と水素から生産する革新的プロジェクトが本格始動

売上高



営業利益



事業概況

(Quality of Life Solutions Unit)

スマートフォン市場の需給調整、アフリカの高インフレと消費低迷が継続し、減収減益

Foam & Residential Techs

- スチレン系発泡樹脂は価格改定によりスプレッドが大幅改善
- 発泡ポリオレフィン、海外自動車向け需要が回復
- S V 全体としては大幅な増収増益

PV & Energy management

- 住宅向け高効率太陽電池の販売が伸長
- 新築住宅などへの太陽電池設置義務化の動きが全国に広がっており、需要伸長を見込む
- 豊岡市で地域マイクログリッド事業として太陽光発電事業、蓄電所事業を組み合わせた複合電力サービス事業を開始予定

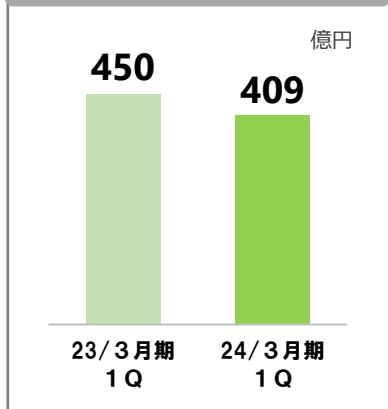
E & I Technology

- 大型TV向け液晶パネル用素材の需要は回復
- スマートフォン市場の回復は想定以上に遅れ、ポリイミド製品の販売が低調

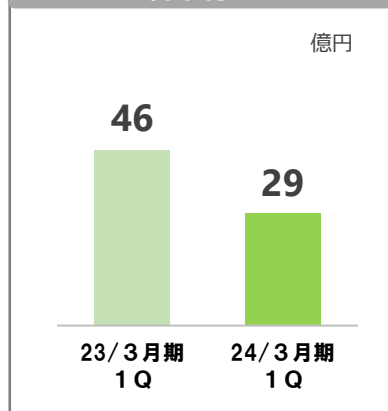
Performance Fibers

- アフリカ諸国の高インフレに伴う消費の低迷から頭髮製品の需要が低調に推移
- 軽量、撥水、抗菌など高機能新製品の投入により需要の回復に努める
- 難燃資材向けは、中国、インドでの新難燃規制の施行を睨んで販売拡大を図る

売上高



営業利益



事業概況

(Health Care Solutions Unit)

一部顧客の需要波動の影響があったものの、販売は総じて堅調に拡大
2 Q以降も引き続き順調な成長

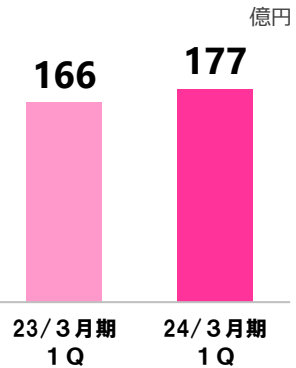
Medical

- 血液浄化器、カテーテルともに国内外で販売が拡大、業績は堅調に推移
- 好調な販売を踏まえ、北海道で建設中の血液浄化器工場に続いてカテーテル生産拠点の新設検討を急ぐ
- 消化器領域や不整脈領域での新製品の投入を予定

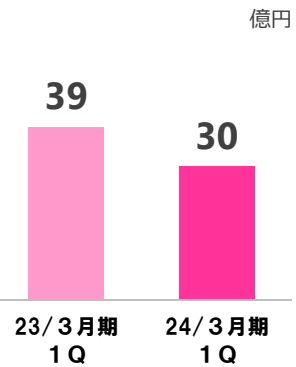
Pharma

- カネカユーロジェンテックのバイオCDMO事業は順調に拡大
- 顧客ニーズの増大に応えるmRNAの能力増強工事は年末に完工予定、遺伝子疾患やがん治療薬用での高成長に期待
- 低分子医薬品では新型コロナ治療薬や抗体医薬向けのP A担体の需要が堅調に推移

売上高



営業利益



事業概況

(Nutrition Solutions Unit)

Supplementの市場拡大、Foodsの収益改善が寄与し、大幅な増収増益
2 Q以降も堅調な業績

Supplemental Nutrition

- 還元型Q10の販売が世界中で拡大。中国EC市場向けの販売も本格化
- 乳酸菌事業も欧米・アジアで販売が増加、グローバルな生産販売体制の強化により拡大を目指す

Foods & Agris

- 高付加価値品の販売シフトとスプレッドの改善が業績に大きく寄与
- 乳製品をはじめ新規事業の拡大、既存製品の海外展開、ECサイトを活用したBtoCビジネスへの進出など、消費者視点に立った新たなビジネスモデルの構築に取り組む
- カネカ食品ではカスタマーセンター等DXを活用した業務革新に注力

売上高

億円

419

460

23/3月期
1Q

24/3月期
1Q

営業利益

億円

8

23

23/3月期
1Q

24/3月期
1Q

(単位：億円)

貸借対照表

		2023年3月末	2023年6月末	増減
資産の部	流動資産	3,970	4,081	111
	固定資産 等	3,857	4,078	221
	資産合計	7,826	8,158	332
負債の部	有利子負債	1,593	1,714	121
	その他	1,869	1,949	80
	負債合計	3,462	3,663	201
純資産の部	自己資本	4,174	4,300	126
	非支配株主持分 他	191	196	5
	純資産合計	4,364	4,495	131
負債、純資産 合計		7,826	8,158	332
自己資本比率		53.3%	52.7%	
D/Eレシオ		0.38	0.40	
1株当たり純資産		6,431.63円	6,624.92円	

- 総資産は、棚卸資産の増加に加え、設備投資の拡大による固定資産増加、円安による海外グループ会社の資産額増加等により増加
- 負債は、借入金の増加等により増加
- 純資産は、円安による為替換算調整勘定の増加や保有株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により増加
- 自己資本比率は52.7%

連結業績予想などの将来予測情報

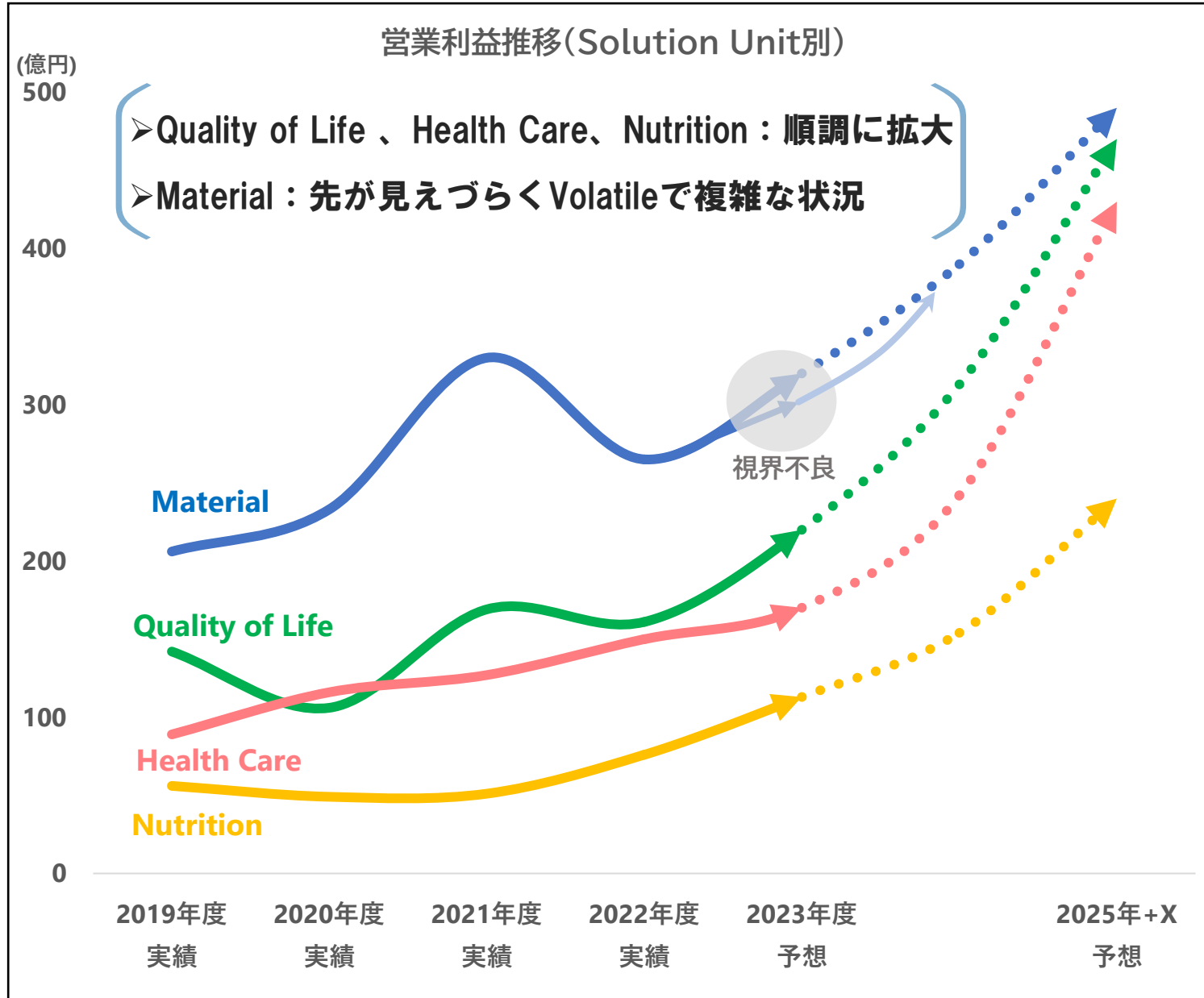
- IMF 7月公表の2023年世界GDP成長率の見通しは3%と低水準、景気回復の足取りは重い
- 順調に成長を続けるHealth Care、Nutrition領域の収益拡大が加速
- 海外自動車生産は復調しているが、Materialの収益回復を左右する欧米の建築関係需要の回復やアジア市況の改善は、想定以上に長引いている。スマートフォンの需要回復の遅れが心配される
- 例えば、アフリカ市場での頭髮製品の需要喚起などマーケットの回復を機動的に掴みながら新製品の投入や新規事業の拡大に注力。ポートフォリオ変革を急ぎ、業績の引き上げを目指す
- 以上のように先が見えづらくVolatileで複雑な状況が続いているので、現時点において2023年5月12日公表の連結業績予想は変更しない

(単位：億円)

〈参考〉2024年3月期 連結業績予想 (2023年5月12日公表)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)	増減	
			金額	%
売上高	7,558	8,000	442	5.8%
営業利益	351	420	69	19.7%
経常利益	324	385	61	18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	270	40	17.3%
営業利益率	4.6%	5.3%		
1株当たり当期純利益	349.59円	416.06円		
ROE (自己資本当期純利益率)	5.7%	6.3%		
為替・原料価格				
期中平均レート (米ドル)	135.5円	130.0円		
期中平均レート (ユーロ)	141.0円	140.0円		
国産ナフサ	76,625円	63,000円		

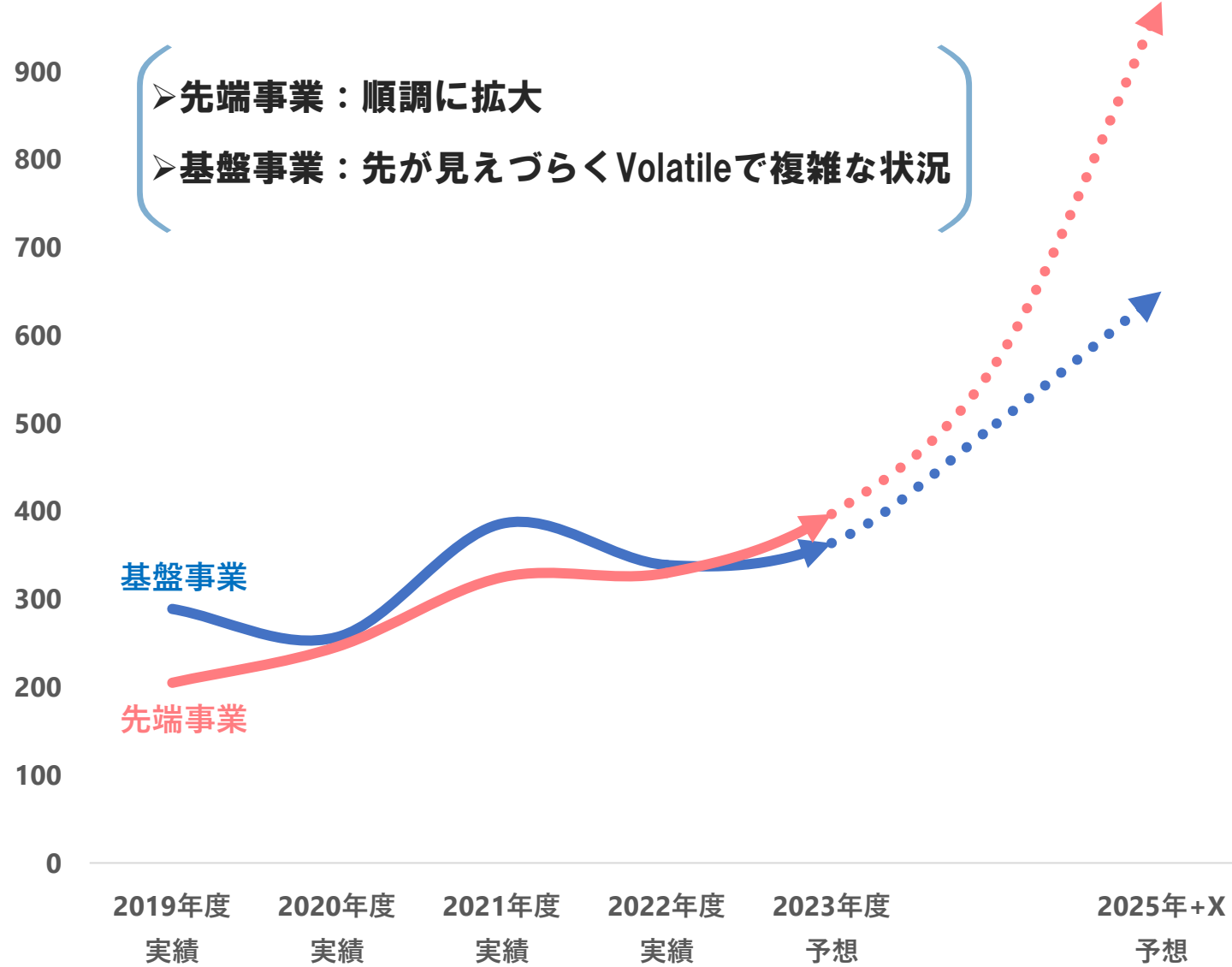
補足資料



営業利益推移(事業群別)

(億円)
1000

- 先端事業：順調に拡大
- 基盤事業：先が見えづらく Volatile で複雑な状況



< お問い合わせ >

(株)カネカ IR・広報(Investors & Public Relations)部

 **03-5574-8090**